

## 調 査 結 果 の 概 要

### 1 総括

平成 24 年度の学校数は 2,029 校で、前年度より 2 校減少(幼稚園 4 園減、小学校 1 校減、中学校 1 校減、特別支援学校 1 校増、専修学校 2 校増、各種学校 1 校増)している。

また、在学者数については 672,698 人で、前年度より 54 人減少している。

表 1 学校数及び在学者数(平成 24 年度)

(単位:校、園、人)

種別	学校数	在学者数 総数	性別	
			男	女
幼稚園	490	67,329	34,185	33,144
小学校	767	275,748	141,138	134,610
中学校	375	142,711	72,891	69,820
高等学校	165	133,531	66,546	66,985
中等教育学校	2	687	313	374
特別支援学校	40	5,193	3,329	1,864
専修学校	170	44,762	21,653	23,109
各種学校	20	2,732	1,506	1,226
総数	2,029	672,693	341,561	331,132
前年度総数	2,031	672,752	341,247	331,505
対前年度増減	▲ 2	▲ 59	314	▲ 373

注)高等学校には通信制課程を含まない。

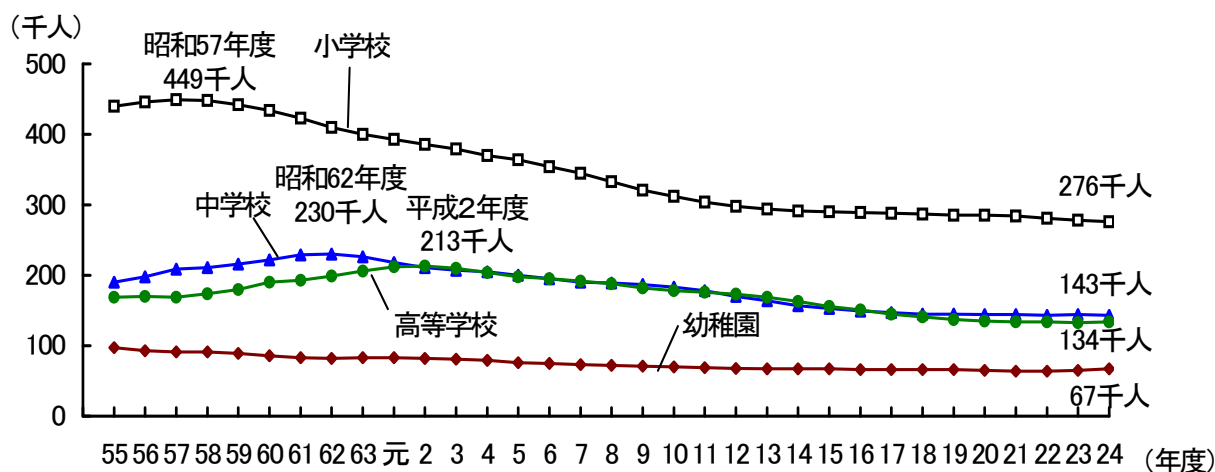
園児、児童及び生徒数の推移を年度別にみると、総じて減少傾向にある。

幼稚園園児数は、近年、ほぼ横ばい状態にあるが、平成 24 年度は前年度より若干増加し、67 千人になっている。小学校児童数は、昭和 57 年度(449 千人)を境に 30 年連続して減少し、平成 24 年度には 276 千人になっている。

中学校生徒数は、昭和 62 年度(230 千人)を境に減少傾向にあり、平成 24 年度は前年度より若干減少し 143 千人になっている。

高等学校生徒数(全日制及び定時制課程)は、平成 2 年度(213 千人)を境に減少傾向にあるが、平成 24 年度は前年度より若干増加し 134 千人になっている。

図 1 年度別園児、児童及び生徒数の推移



## 2 幼稚園

### (1) 園数

幼稚園数は490園(国立1園、公立62園、私立427園)で、前年度より4園減少(私立4園減、国立及び公立は前年度と同数)している。

表2 幼稚園の設置者別園数の推移

(単位:園)

区分	計	国立	公立	私立
平成14年度	519	1	73	445
19	508	1	71	436
20	501	1	64	436
21	500	1	64	435
22	498	1	63	434
23	494	1	62	431
24	490	1	62	427

### (2) 園児数

園児数は67,329人(男子34,185人、女子33,144人)で、前年度より1,865人増加している。

①年齢別では、3歳児19,822人、4歳児24,036人、5歳児23,471人である。

②本務教員1人当たりの園児数は14.1人で前年度より0.1人増加している。

### (3) 教員数

教員数(本務者)は4,768人で、前年度より108人増加している。

表3 幼稚園の年齢別園児数及び教員数の推移

(単位:人)

区分	園児数		3歳	4歳	5歳	本務 教員数	本務教員1人 当たり園児数	
	計	男						女
平成14年度	67,432	34,127	33,305	15,825	25,394	26,213	4,294	15.7
19	65,892	33,486	32,406	17,283	23,761	24,848	4,580	14.4
20	65,159	33,103	32,056	17,489	23,577	24,093	4,589	14.2
21	64,160	32,558	31,602	17,170	23,104	23,886	4,610	13.9
22	64,076	32,531	31,545	18,256	22,391	23,429	4,615	13.9
23	65,464	33,241	32,223	19,615	23,098	22,751	4,660	14.0
24	67,329	34,185	33,144	19,822	24,036	23,471	4,768	14.1

### 3 小学校

#### (1) 学校数

学校数は767校(国立3校、公立756校、私立8校)で、前年度より1校減少(公立1校減、国立及び私立は前年度と同数)している。

表4 小学校の設置者別学校数の推移

(単位:校)

区分	計	国立	公立	私立
平成14年度	789	3	783	3
19	778	3	768	7
20	776	3	766	7
21	775	3	765	7
22	771	3	760	8
23	768	3	757	8
24	767	3	756	8

#### (2) 学級数

学級数は10,657学級で、前年度より70学級増加している。

#### (3) 児童数

児童数は275,748人(男子141,138人、女子134,610人)で、前年度より2,558人減少している。

①1学級当たりの児童数は25.9人で、前年度より0.4人減少している。

②本務教員1人当たりの児童数は17.2人で、前年度より0.3人減少している。

#### (4) 教員数

教員数(本務者)は16,041人で、前年度より105人増加している。

表5 小学校の学年別児童数、学級数及び教員数の推移

(単位:人、学級)

区分	児童数		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
	計	男					女
平成14年度	291,251	148,716	142,535	47,136	49,093	47,618	48,617
19	285,439	146,172	139,267	46,999	46,903	47,844	48,036
20	285,231	146,082	139,149	47,205	46,984	46,935	47,887
21	283,523	145,331	138,192	46,084	47,260	47,050	46,984
22	281,109	143,874	137,235	45,268	46,140	47,361	47,157
23	278,306	142,494	135,812	44,827	45,349	46,248	47,453
24	275,748	141,138	134,610	44,059	44,922	45,420	46,410

つづき

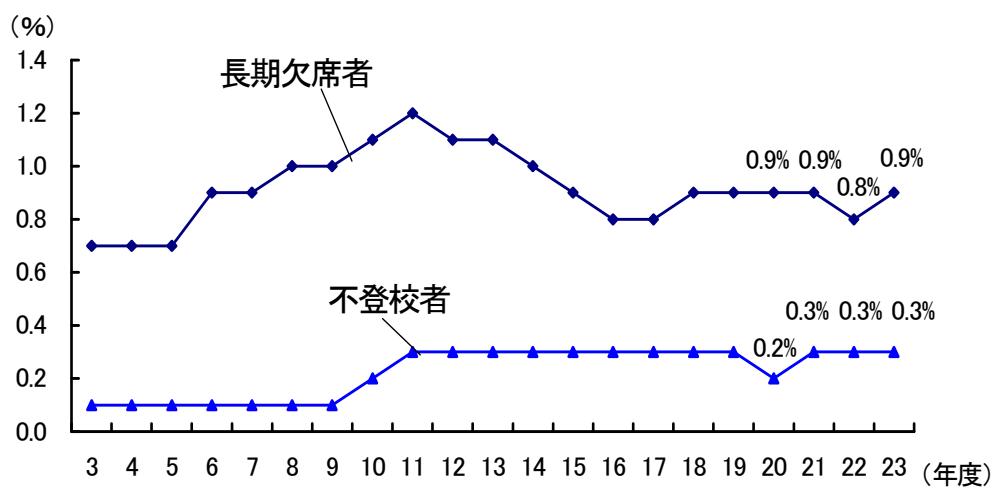
区 分	第5学年	第6学年	学級数	1学級当たり の児童数	本務教員 数	本務教員1人 当たり児童数
平成14年度	49,354	49,433	9,835	29.6	15,120	19.3
19	48,071	47,586	10,308	27.7	15,482	18.4
20	48,083	48,137	10,458	27.3	15,548	18.3
21	47,992	48,153	10,492	27.0	15,599	18.2
22	47,121	48,062	10,561	26.6	15,799	17.8
23	47,258	47,171	10,587	26.3	15,936	17.5
24	47,529	47,408	10,657	25.9	16,041	17.2

#### (5)長期欠席者数

平成23年度中に30日以上欠席した者(以下、「長期欠席者」という。)は2,628人で、前年度より242人増となり、全児童数に占める比率は0.9%で前年度より0.1ポイント上昇している。

長期欠席者を理由別にみると、「病気」47.9%、「不登校」34.5%、「その他」17.4%となっている。長期欠席者のうち、不登校者数は907人と、前年度より90人増となり、全児童に占める比率は0.3%で前年度と同率である。

図2 小学校全児童数に占める「長期欠席者」及び「不登校者」の比率の推移



注)平成3年度から30日以上欠席した者について、調査が始まった。

#### 4 中学校

##### (1) 学校数

学校数は375校(国立3校、公立345校、私立27校)で、前年度より1校減少(私立1校減、国立及び公立は前年度と同数)している。

表6 中学校の設置者別学校数の推移

(単位:校)

区分	計	国立	公立	私立
平成14年度	378	3	346	29
19	379	3	348	28
20	379	3	349	27
21	379	3	349	27
22	375	3	345	27
23	376	3	345	28
24	375	3	345	27

##### (2) 学級数

学級数は4,674学級で、前年度より13学級減少している。

##### (3) 生徒数

生徒数は142,711人(男子72,891人、女子69,820人)で、前年度より994人減少している。

- ①1学級当たりの生徒数は30.5人で、前年度より0.2人減少している。
- ②本務教員1人当たりの生徒数は14.7人で、前年度より0.1人減少している。

##### (4) 教員数

教員数(本務者)は9,707人で、前年度より28人増加している。

表7 中学校の学年別生徒数、学級数及び教員数の推移

(単位:人、学級)

区分	生徒数 計	学級数		第1学年	第2学年	第3学年
		男	女			
平成14年度	156,908	80,027	76,881	50,225	53,161	53,522
19	145,106	73,835	71,271	49,049	47,499	48,558
20	143,925	73,054	70,871	47,318	49,077	47,530
21	144,361	73,376	70,985	47,904	47,317	49,140
22	143,245	72,855	70,390	47,887	47,985	47,373
23	143,705	73,209	70,496	47,772	47,942	47,991
24	142,711	72,891	69,820	46,881	47,822	48,008

つづき

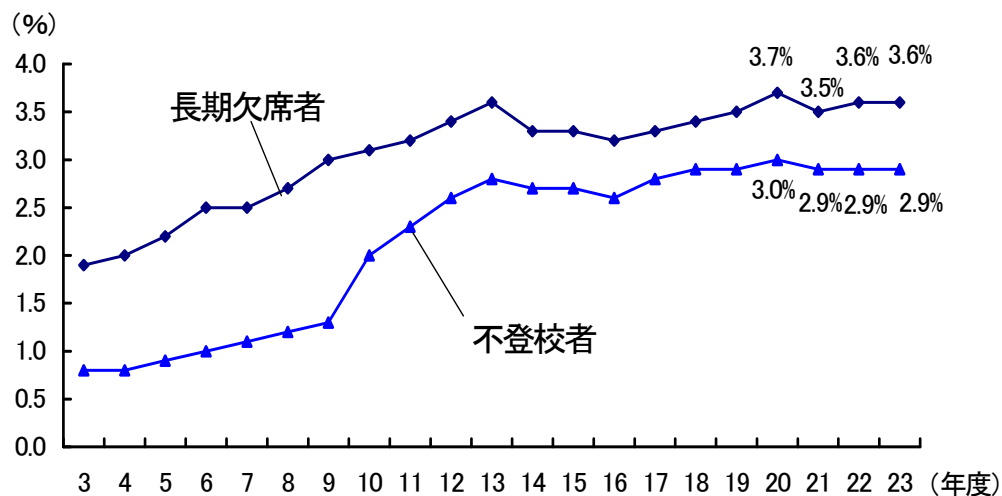
区分	学級数	1学級当たりの生徒数	本務教員数	本務教員1人当たり生徒数
平成14年度	4,409	35.6	9,525	16.5
19	4,532	32.0	9,458	15.3
20	4,562	31.5	9,460	15.2
21	4,644	31.1	9,522	15.2
22	4,626	31.0	9,566	15.0
23	4,687	30.7	9,679	14.8
24	4,674	30.5	9,707	14.7

(5)長期欠席者数(中等教育学校(前期課程)を含む)

平成23年度中の長期欠席者は5,191人で、前年度より67人増となり、全生徒数に占める比率は3.6%で、前年度と同率である。

長期欠席者を理由別にみると、「不登校」80.9%、「病気」13.3%、「その他」5.7%となっている。長期欠席者のうち、不登校者数は4,201人と、前年度より83人増加しており、全生徒数に占める比率は2.9%で、前年度と同率である。

図3 中学校全生徒数に占める「長期欠席者」及び「不登校者」の比率の推移



注)平成3年度から30日以上欠席した者について、調査が始まった。  
平成19年度から中等教育学校(前期課程)の長期欠席者を含んでいる。

## 5 高等学校

### a 全日制課程(本科・専攻科)・定時制課程(本科のみ(本県においては専攻科なし))

#### (1) 学校数

学校数は165校(公立106校、私立59校)で、前年度と同数(公立、私立とも前年度と同数)となっている。

表8 高等学校の設置者別学校数の推移

(単位:校)

区分	計	公立		私立	
			うち定時制 課程設置校		うち定時制 課程設置校
平成14年度	187	124	27	63	-
19	171	111	26	60	-
20	172	112	26	60	-
21	168	109	24	59	-
22	165	106	23	59	-
23	165	106	23	59	-
24	165	106	23	59	-

#### (2) 生徒数

生徒数は133,531(男子66,546人、女子66,985人)で、前年度より393人増加している。

①本科の全日制課程の生徒数は129,168人で、前年度より567人増加している。

②本科の定時制課程の生徒数は3,528人で、前年度より197人減少している。

③全日制課程及び定時制課程の本科の生徒数(132,696人)を学科別にみると、普通科が最も多く93,202人で、本科の生徒数の70.2%を占め、次いで工業科12,110人(9.1%)、総合学科8,204人(6.2%)、商業科7,501人(5.7%)等となっている。

④本務教員1人当たりの生徒数は15.6人で、前年度と同数である。

#### (3) 教員数

教員数(本務者)は8,574人で、前年度より59人増加している。

表9 高等学校の課程別生徒数及び教員数の推移

(単位:人)

区分	生徒数 計	生徒数		本科		専攻科
		男	女	全日制	定時制	全日制のみ
平成14年度	163,223	82,310	80,913	159,025	3,496	702
19	136,857	68,675	68,182	132,292	3,774	791
20	134,734	67,559	67,175	130,279	3,701	754
21	133,684	66,840	66,844	129,149	3,757	778
22	133,930	66,925	67,005	129,360	3,777	793
23	133,138	66,306	66,832	128,601	3,725	812
24	133,531	66,546	66,985	129,168	3,528	835

つづき

区分	本務教員数	本務教員1人 あたり生徒数
平成14年度	9,541	17.1
19	8,657	15.8
20	8,617	15.6
21	8,552	15.6
22	8,540	15.7
23	8,515	15.6
24	8,574	15.6

※専攻科

高等学校等を卒業した者等に対し、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置された科。  
例：看護科、介護福祉科等  
(本県においては、全日制課程にのみ設置されている。)

表10 高等学校の学科別生徒数(全日制・定時制課程の本科)の推移

(単位:人)

区分	本科計	普通	工業	商業	家庭	農業	総合学科	看護
平成14年度	162,521	114,778	15,646	12,800	5,199	3,782	3,636	1,127
19	136,066	95,024	12,440	8,106	3,805	2,569	8,364	1,111
20	133,980	93,709	12,440	7,936	3,697	2,537	8,141	1,119
21	132,906	93,044	12,380	7,750	3,680	2,552	8,051	1,136
22	133,137	93,260	12,467	7,624	3,699	2,537	8,085	1,237
23	132,326	92,832	12,131	7,490	3,708	2,498	8,197	1,321
24	132,696	93,202	12,110	7,501	3,684	2,499	8,204	1,456

つづき

水産	福祉	情報	その他
394	-	-	5,159
417	919	103	3,208
402	789	105	3,105
404	733	104	3,072
408	721	109	2,990
423	719	102	2,905
430	739	89	2,782

※総合学科

自分の進路や興味・関心などに応じて科目が選択できるよう用意された学科(一般的に単位制)。

※福祉、情報学科

平成15年度より調査区分に追加。

※その他の学科

理数関係、外国語関係、音楽・美術関係など、他に含まれない学科。



b 通信制課程

(1) 学校数

学校数は5校(独立校1校、全日制課程との併置3校、定時制課程との併置1校)で、前年度と同数となっている。

(2) 生徒数

生徒数は4,435人(男子2,240人、女子2,195人)で、前年度より5人減少している。

(3) 教員数

教員数は134人(本務者54人、兼務者80人)で、前年度より8人増加している。

表 11 通信制課程を設置する学校数、生徒数及び教員数の推移

(単位:校、人)

	学校数			生徒数			教員数		
	計	公立	私立	計	男	女	計	本務者	兼務者
平成14年度	4	1	3	5,225	2,654	2,571	109	53	56
19	5	1	4	4,722	2,411	2,311	121	60	61

## 7 特別支援学校

### (1) 学校数

学校数は 40 校(公立 40 校)で、前年度より 1 校増加している。

### (2) 在学者数

在学者数は 5,193 人(男子 3,329 人、女子 1,864 人)で、前年度より 229 人増加している。

### (3) 教員数

教員数(本務者)は 2,820 人で、前年度より 108 人増加している。

表 12 特別支援学校の学校数、在学者数及び教員数の推移

(単位:校、人)

区分	学校数	在学者数		幼稚部	小学部	中学部	高等部	本務 教員数	
		計	男						女
平成14年度	40	3,774	2,367	1,407	61	1,227	848	1,638	2,136
19	42	4,386	2,795	1,591	68	1,469	1,032	1,817	2,446
20	42	4,526	2,942	1,584	55	1,481	1,082	1,908	2,515
21	42	4,689	3,035	1,654	52	1,487	1,146	2,004	2,578
22	40	4,856	3,158	1,698	56	1,491	1,174	2,135	2,681
23	39	4,964	3,171	1,793	65	1,526	1,183	2,190	2,712
24	40	5,193	3,329	1,864	65	1,582	1,177	2,369	2,820

注)平成 18 年度以前は、盲学校・聾学校・養護学校分を合算したもの。

### ※特別支援学校

学校教育法の一部改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日から盲学校、聾学校及び養護学校は複数の障害種を対象とすることができる特別支援学校になった。特別支援学校は、「視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けること(学校教育法第 72 条)」を目的とした学校である。

## 8 専修学校

### (1) 学校数

学校数は170校(国立1校、公立2校、私立167校)で、前年度より2校増加(私立2校増、国立及び公立は前年度と同数)している。

### (2) 生徒数

生徒数は44,762人(男子21,653人、女子23,109人)で、前年度より868人増加している。

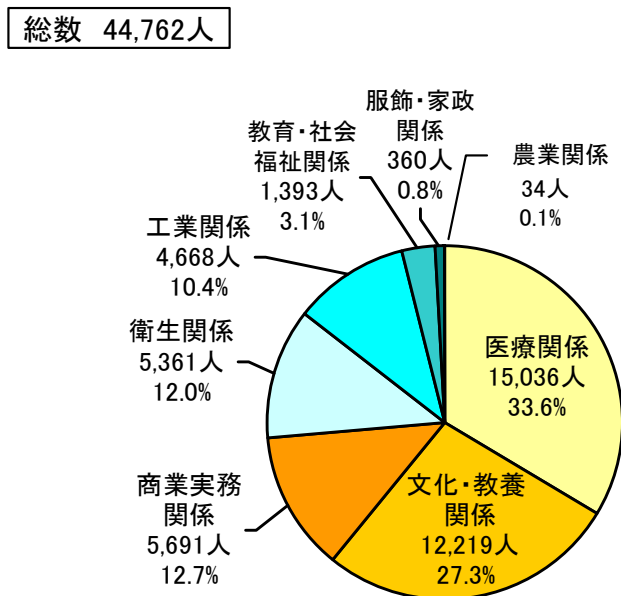
分野別に生徒数をみると、医療関係が最も多く、15,036人(全体の33.6%)、次いで、文化・教養関係12,219人(同27.3%)、商業実務関係5,691人(同12.7%)、衛生関係5,361人(同12.0%)等となっている。

表13 専修学校の設置者別学校数及び生徒数の推移

(単位:校、人)

区分	学校数			生徒数			
	計	国立	公立	私立	計	男	女
平成14年度	182	5	4	173	48,831	23,210	25,621
19	188	1	3	184	47,101	22,831	24,270
20	185	1	3	181	43,893	21,026	22,867
21	178	1	3	174	41,746	19,897	21,849
22	169	1	3	165	42,780	20,435	22,345
23	168	1	2	165	43,894	21,226	22,668
24	170	1	2	167	44,762	21,653	23,109

図4 専修学校の分野別生徒数



### ※専修学校

専修学校とは、学校教育法第1条以外の教育施設で、職業もしくは実際生活に必要な能力を育成し、または、教養の向上を図ることを目的とした学校教育法第124条から第133条に規定された学校である。

その設置基準の主なものとしては、①修業年限が1年以上であること、②授業時間が年間800時間以上であること、③教育を受ける者が常時40人以上いることがあるほか、教員の資格、施設及び設備などについての規定がある。

専修学校には、「高等課程」、「専門課程」及び「一般課程」の3つの課程があり、「高等課程」は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて教育を行うもので、入学資格は、中学校等卒業(修了)、あるいはこれと同等以上の学力を有する者とされている。

また、「専門課程」は、高等学校における教育の基礎の上に教育を行うもので、入学資格は、高等学校等卒業、あるいはこれに準ずる学力を有する者とされている。

さらに、「一般課程」は、高等課程及び専門課程以外の課程で、入学資格については、特に限定はない。

## 9 各種学校

### (1) 学校数

学校数は20校(公立2校、私立18校)で、前年度より1校増加(私立1校増、公立は前年度と同数)となっている。

### (2) 生徒数

生徒数は2,732人(男子1,506人、女子1,226人)で、前年度より129人増加している。

生徒数を分野別にみると、自動車操縦が最も多く1,148人(全体の42.0%)、次いで、文化・教養関係671人(同24.6%)、衛生関係148人(同5.4%)、服飾・家政関係34人(同1.2%)等となっている。

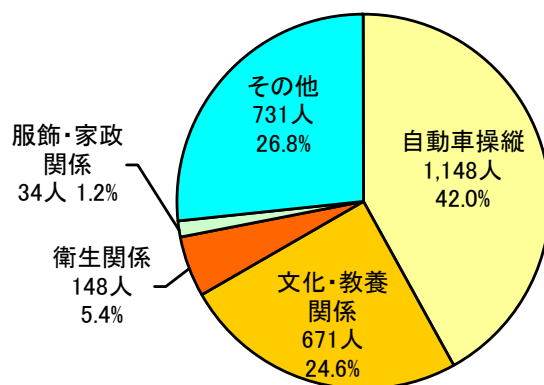
表14 各種学校の設置者別学校数及び生徒数の推移

(単位:校、人)

区分	学校数			生徒数			
	計	国立	公立	私立	計	男	女
平成14年度	60	-	3	57	7,568	4,277	3,291
19	53	-	2	51	6,246	3,633	2,613
20	51	-	2	49	5,777	3,231	2,546
21	49	-	2	47	5,626	3,188	2,438
22	19	-	2	17	2,726	1,405	1,321
23	19	-	2	17	2,603	1,292	1,311
24	20	-	2	18	2,732	1,506	1,226

図5 各種学校の分野別生徒数

総数 2,732人



#### ※各種学校

各種学校とは、学校教育法第1条及び第124条に規定された学校及びその他の法律に規定がある学校以外で、学校教育に類する教育を行うことと学校教育法第134条に規定された学校である。

その基準の主なものとしては、①修業年限1年以上(簡易な課程の場合は3か月以上1年未満も可)であること、②授業時間が年間680時間以上であること(1年未満の場合は、その修業期間に応じて減じる)、③1授業の生徒数が40人以下であること、④校舎は115.7㎡以上とすること等がある。

## 10 中学校卒業後の状況(平成24年3月の卒業生)

### (1) 卒業生数

平成24年3月の中学校卒業生数は48,023人(男子24,410人、女子23,613人)で、前年度より621人増加(男子352人増、女子269人増)している。

### (2) 卒業生の進路

卒業生を進路別にみると、高等学校等進学者<sup>(\*1)</sup>46,822人、専修学校等入学者<sup>(\*2)</sup>406人(うち公共職業能力開発施設等入学者54人)、就職者は、就職進学者<sup>(\*3)</sup>及び就職入学者<sup>(\*4)</sup>の7人を含め180人、その他の者622人となっている。

#### \*1 高等学校等進学者

高等学校本科及び別科、中等教育学校後期課程本科及び別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科に進学した者。

#### \*2 専修学校等入学者

専修学校高等課程進学者、専修学校一般課程等入学者(各種学校入学者を含む。)及び公共職業能力開発施設等入学者。

**\* 3 就職進学者**

就職しながら高等学校本科及び別科、高等専門学校、専修学校高等課程、特別支援学校高等部の本科及び別科に進学した者。

**\* 4 就職入学者**

就職しながら専修学校一般課程等(各種学校を含む。)及び公共職業能力開発施設等に入学した者。

**(3)高等学校等進学者**

高等学校等進学者数は 46,822 人(男子 23,696 人、女子 23,126 人)で、前年度より 630 人増加(男子 339 人増、女子 291 人増)している。高等学校等進学率(全卒業者数のうち高等学校等進学者の占める比率)は 97.5%(男子 97.1%、女子 97.9%)で、前年度(97.4%)より 0.1 ポイント上昇している。

**(4)専修学校等入学者**

専修学校等入学者数は 406 人(男子 249 人、女子 157 人)で、前年度より 26 人増加(男子 43 人増、女子 17 人減)している。

**(5)就職状況**

就職者総数(就職進学者及び就職入学者を含む。)は 180 人(男子 149 人、女子 31 人)で、前年度より 15 人減少(男子 2 人減、女子 13 人減)している。

就職率(全卒業者数のうち就職者総数の占める比率)は 0.4%(男子 0.6%、女子 0.1%)で、前年度と同率である。

表 15 進路別卒業者数(中学校)の推移

(単位:人、%)

区分	卒業者数							
	A	高等学校等進学者		専修学校等入学者	うち公共職業能力開発施設等入学者	就職者総数	産業別	
		B	志願者				C	D
平成14年度	57,438	55,306	55,675	428	99	462	12	248
19	49,365	47,723	47,888	450	76	339	8	178
20	48,571	46,963	47,044	440	86	330	4	162
21	47,548	46,137	46,186	323	57	274	13	108
22	49,143	47,728	47,730	442	73	217	6	97
23	47,402	46,192	46,147	380	48	195	5	77
24	48,023	46,822	46,692	406	54	180	10	79

つづき

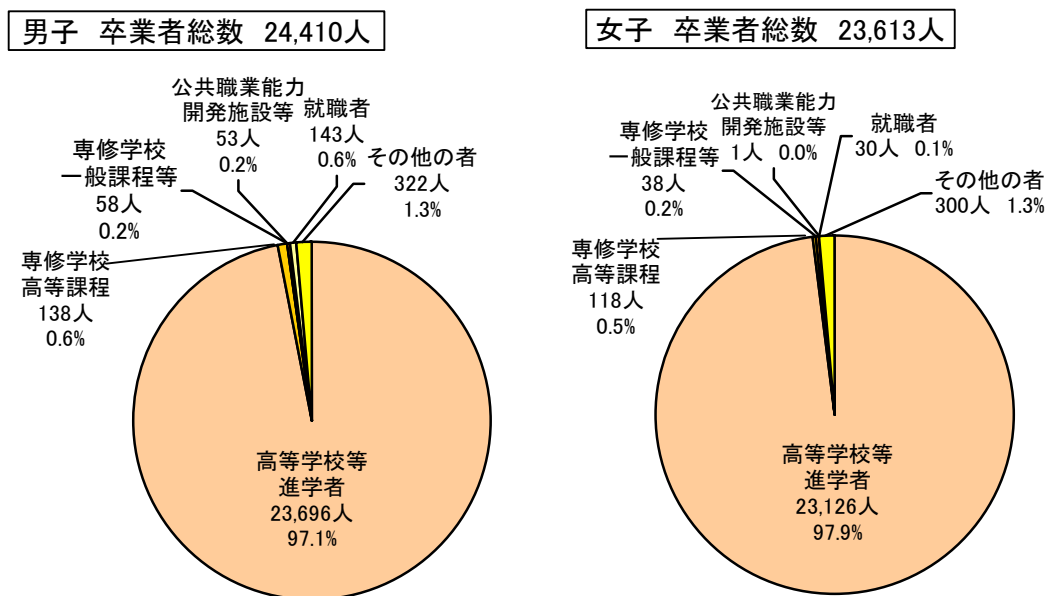
区分	産業別				就職先別	その他の者	就職進学者・就職入学者	高等学校等進学率	就職率
	産業別		就職先別						
	3次産業	その他	県内	県外	L	M	N	O	
平成14年度	163	39	422	40	1,253	11	96.3	0.8	
19	140	13	303	36	866	13	96.7	0.7	
20	143	21	303	27	851	13	96.7	0.7	
21	144	9	242	32	828	14	97.0	0.6	
22	101	13	193	24	775	19	97.1	0.4	
23	90	23	169	26	644	9	97.4	0.4	
24	77	14	158	22	622	7	97.5	0.4	

注) 区分計上年度の前年度末の状況。

$$A=B+C+E+L-M, E=F+G+H+I=J+K, N=B/A \times 100, O=E/A \times 100$$

M: B及びCのうち就職している者

図6 男女別中学校卒業後の状況



注) 図6の就職者には、就職進学者及び就職入学者は含まない。

## 11 高等学校卒業後の状況(平成24年3月の卒業生)

### a 全日制課程・定時制課程

#### (1) 卒業生数

平成24年3月の高等学校(全日制課程・定時制課程)卒業生数は、41,532人(男子20,683人、女子20,849人)で、前年度より623人減少(男子537人減、女子86人減)している。

#### (2) 卒業生の進路

卒業生を進路別にみると、大学等進学者<sup>(\*5)</sup>21,802人、専修学校等入学者<sup>(\*6)</sup>10,428人(うち公共職業能力開発施設等入学者183人)、就職者は、就職進学者<sup>(\*7)</sup>及び就職入学者<sup>(\*8)</sup>の16人を含め7,137人、一時的な仕事に就いた者522人、その他の者1,659人となっている。

卒業生の進路をバブル経済崩壊後の平成4年度以降で見ると、大学等進学率は年々上昇した後、平成12年度を境に一時期低下し、平成16年度から再び上昇に転じていたが、平成24年度は前年度より0.8ポイント低下している。

一方、専修学校等入学率は、年々低下した後、平成10年度を境にやや上昇傾向にあったが、平成18年度から4年連続低下し、その後上昇に転じ、平成24年度は前年度より0.5ポイント上昇している。

また、就職率は、低下傾向が続いた後、平成17年度から上昇していたが、平成21年度から2年連続低下し、その後再び上昇しており、平成24年度は前年度より0.4ポイント上昇している。

#### \*5 大学等進学者

大学・短期大学の本科・別科及び通信教育、放送大学、高等学校専攻科及び特別支援学校高等部専攻科に進学した者。

#### \*6 専修学校等入学者

専修学校専門課程進学者、専修学校一般課程等入学者(各種学校入学者を含む。)及び公共職業能力開発施設等入学者。

#### \*7 就職進学者

就職しながら大学・短期大学の本科・別科及び通信教育、専修学校専門課程、高等学校専攻科、特別支援学校高等部専攻科に進学した者。

#### \*8 就職入学者

就職しながら専修学校一般課程等(各種学校を含む。)及び公共職業能力開発施設等に入学した者。



表 16 進路別卒業生数(高等学校全日制・定時制課程)の推移

(単位:人、%)

区分	卒業生数 A	大学等進学者 B		専修学校 等入学者 C	うち公共職業 能力開発施設 等入学者 D	就職者 総数 E	就職先別	
		志願者	就職先別				県内 F	県外 G
平成14年度	54,120	23,579	29,861	15,271	231	9,285	7,793	1,492
19	45,941	23,197	26,824	11,037	193	8,559	6,784	1,775
20	43,755	22,608	26,137	10,365	174	8,270	6,500	1,770
21	42,166	22,253	25,405	9,659	186	7,571	5,904	1,667
22	42,611	22,725	26,154	10,365	208	6,780	5,592	1,188
23	42,155	22,482	25,711	10,381	198	7,084	5,712	1,372
24	41,532	21,802	24,859	10,428	183	7,137	5,895	1,242

つづき

区分	一時的な 仕事に 就いた者 H	その他 の者 I	就職進学者・ 就職入学者 J	大学等 進学率 K	就職率 L
平成14年度	...	6,090	105	43.6	17.2
19	813	2,372	37	50.5	18.6
20	511	2,026	25	51.7	18.9
21	588	2,110	15	52.8	18.0
22	697	2,069	25	53.3	15.9
23	609	1,620	21	53.3	16.8
24	522	1,659	16	52.5	17.2

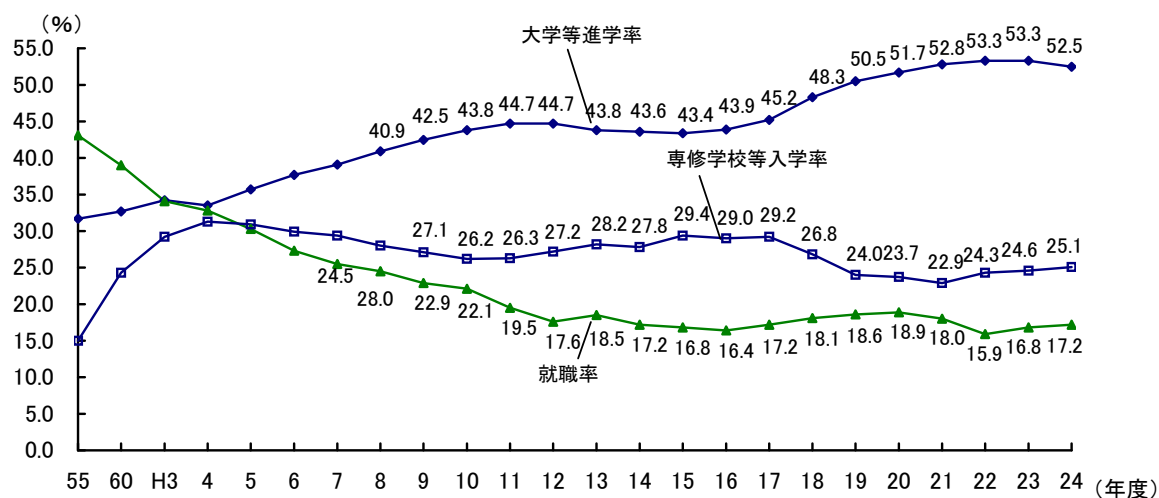
注)区分計上年度の前年度末の状況。

「一時的な仕事に就いた者」は、平成 16 年度調査から追加され、それ以前は「その他の者」に含む。

A=B+C+E+H+I-J、E=F+G、K=B/A×100、L=E/A×100

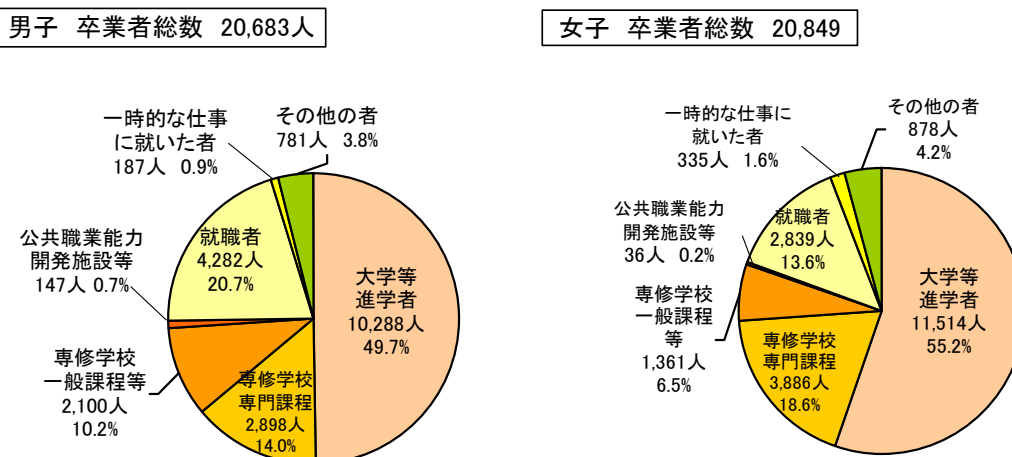
J:B及びCのうち就職している者

図7 高等学校卒業後の就職率等の推移



注)年度は調査年度を表し、比率は調査年度の前年度末の状況。

図8 男女別高等学校卒業後の状況



注) 図8の就職者には、就職進学者及び就職入学者は含まない。

### (3) 大学等進学者

大学等進学者数は 21,802 人(男子 10,288 人、女子 11,514 人)で、前年度より 680 人減少(男子 374 人減、女子 306 人減)している。

大学等進学率(全卒業生数のうち大学等進学者の占める比率)は 52.5%(男子 49.7%、女子 55.2%)で、前年度より 0.8 ポイント低下している。

### (4) 専修学校等入学者

専修学校等入学者数は 10,428 人(男子 5,145 人、女子 5,283 人)で、前年度より 47 人増加(男子 134 人減、女子 181 人増)している。

専修学校等入学率(全卒業生数のうち専修学校等入学者の占める比率)は 25.1%(男子 24.9%、女子 25.3%)で、前年度より 0.5 ポイント上昇している。

### (5) 就職状況

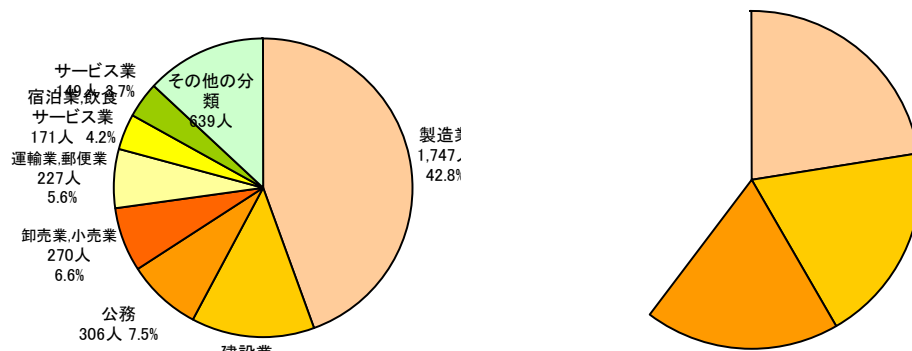
就職者総数(就職進学者及び就職入学者を含む)は 7,137 人(男子 4,288 人、女子 2,849 人)と、53 人増加(男子 22 人増、女子 31 人増)している。

①就職率は、17.2%(男子 20.7%、女子 13.7%)となっており、前年度より 0.4 ポイント上昇している。

②就職者総数を産業別にみると、男子では、製造業が 1,911 人(44.6%)と最も多く、次いで、建設業 564 人(13.2%)、卸売業、小売業 343 人(8.0%)等となっている。一方、女子では、卸売業、小売業が 644 人(22.6%)と最も多く、次いで、医療、福祉 546 人(19.2%)、製造業 527 人(18.5%)等となっている。

- ③就職者総数を職業別にみると、男子では、「生産工程従事者」が 2,082 人 (48.6%) と最も多く、次いで、「建設・採掘従事者」430 人 (10.0%)、「サービス職業従事者」419 人 (9.8%) 等となっている。
- 一方、女子では、「サービス職業従事者」が 906 人 (31.8%) と最も多く、次いで、「販売従事者」566 人 (19.9%)、「事務従事者」543 人 (19.1%) 等となっている。
- ④県外への就職者は 1,242 人で就職者の 17.4%を占めており、前年度より 2.0 ポイント低下している。

図9 高等学校卒業者の産業別就職者比率(男女別)



b 通信制課程

(1) 卒業者数

平成 23年度間の高等学校(通信制課程)の卒業者数は 853 人(男子 479 人、女子 374 人)で、前年度間より 27 人減少している。

(2) 卒業者の進路

卒業者を進路別にみると、大学等進学者 108 人(卒業者数の 12.7%)、専修学校等入学者 192 人(同 22.5%、うち公共職業能力開発施設等入学者 8 人)、就職者 100 人(同 11.7%、就職進学者及び就職入学者を含む)、その他の者 455 人(同 53.3%)となっている。

表 17 進路別卒業者数(高等学校通信制課程)の推移

(単位:人、%)

区分	卒業者数 A	大学等 進学者 B	専修学校 等入学者 C	うち公共職業 能力開発施設 等入学者 D	就職者 E	その他 F	就職進学者・ 就職入学者 G	大学等 進学率 H	就職率 I
平成14年度	1,179	155	235	2	226	563	-	13.1	19.2
19	1,056	180	215	9	155	508	2	17.0	14.7
20	983	121	184	5	141	541	4	12.3	14.3
21	920	130	175	5	151	465	1	14.1	16.4
22	962	140	196	11	142	485	1	14.6	14.8
23	880	117	187	9	99	479	2	13.3	11.3
24	853	108	192	8	100	455	2	12.7	11.7

注) 区分計上年度の前年度末の状況。

$$A=B+C+E+F-G, H=B/A \times 100, I=E/A \times 100$$

G: B 及び C のうち就職している者

12 中等教育学校前期課程修了者、後期課程卒業者の状況

前期課程修了者(平成24年3月)

(1) 修了者数

平成 24 年 3 月の中等教育学校前期課程修了者数は 108 人(男子 51 人、女子 57 人)となっている。

(2) 修了者の進路

修了者を進路別にみると、高等学校等進学者 108 人(うち中等教育学校後期課程進学者が 106 人)となっている。

後期課程卒業者(平成24年3月)

(1) 卒業者数

平成 24 年 3 月の中等教育学校後期課程卒業者数は 100 人(男子 44 人、女子 56 人)となっている。

(2) 卒業者の進路

卒業者を進路別にみると、大学等進学者 68 人、専修学校等入学者 24 人(うち公共職業能力開発施設等入学者 1 人)、就職者は 7 人、その他の者 1 人となっている。

### 13 特別支援学校卒業後の状況(平成24年3月の卒業生)

#### (1) 卒業生数

平成24年3月の特別支援学校の卒業生数は中学部445人(男子289人、女子156人)、高等部635人(男子379人、女子256人)で、前年度より中学部は73人増加し、高等部は3人減少している。

#### (2) 卒業生の進路

卒業生を進路別にみると、中学部では、高等学校等進学者422人、専修学校等入学者2人、その他の者21人となっている。

また、高等部では、大学等進学者24人、専修学校等入学者7人(うち公共職業能力開発施設等入学者5人)、就職者134人、その他の者470人となっている。

進学率については、中学部では94.8%(前年度より1.0ポイント上昇)、高等部では3.8%(前年度より1.3ポイント上昇)となっている。

さらに、就職率については、高等部が21.1%で、前年度より0.8ポイント低下している。

表18 特別支援学校の進路別卒業生数(中学部)の推移

(単位:人、%)

区分	卒業生数 A	高等学校等 進学者 B	専修学校等 入学者 C	うち公共職業 能力開発施設 等入学者 D	就職者 E	その他の者 F	就職進学者、 就職入学者 G	高等学校 等進学率 B/A	就職率 E/A
平成14年度	283	270	-	-	-	13	-	95.4	-
19	291	277	-	-	-	14	-	95.2	-
20	344	318	4	-	-	22	-	92.4	-
21	353	333	1	1	-	19	-	94.3	-
22	386	365	1	-	-	20	-	94.6	-
23	372	349	1	-	-	22	-	93.8	-
24	445	422	2	-	-	21	-	94.8	-

注)区分計上年度の前年度末の状況。

専修学校等入学者には、専修学校高等課程進学者、専修学校一般課程等入学者(各種学校入学者を含む。)及び公共職業能力開発施設等入学者を含む。

平成19年度以前の卒業生数は、盲学校、聾学校、養護学校を合算したもの。

表19 特別支援学校の進路別卒業生数(高等部)の推移

(単位:人、%)

区分	卒業生数 A	大学等 進学者 B	専修学校等 入学者 C	うち公共職業 能力開発施設 等入学者 D	就職者 E	その他の者 F	就職進学者、 就職入学者 G	大学等 進学率 B/A	就職率 E/A
平成14年度	442	17	17	15	88	320	-	3.8	19.9
19	546	5	17	12	101	423	-	0.9	18.5
20	548	14	18	17	112	404	-	2.6	20.4
21	553	20	8	7	108	417	-	3.6	19.5
22	586	8	7	4	118	453	-	1.4	20.1
23	638	16	9	8	140	473	-	2.5	21.9
24	635	24	7	5	134	470	-	3.8	21.1

注)区分計上年度の前年度末の状況。

専修学校等入学者には、専修学校専門課程進学者、専修学校一般課程等入学者(各種学校入学者を含む。)及び公共職業能力開発施設等入学者を含む。

平成19年度以前の卒業生数は、盲学校、聾学校、養護学校を合算したもの。

## 14 地域別の状況等

### (1) 4地域別小学校児童数・中学校生徒数の推移

福岡、北九州、筑後及び筑豊の4地域別の小学校児童数及び中学校生徒数について、15年前の平成9年度を100とした指数により5年ごとの推移をみると、福岡地域を除いて減少が続いている。福岡地域では、小中学校とも、平成24年度は5年前の平成19年度より増加しているが、平成9年度に比べると減少している。

平成9年度と比べて最も大きく減少した地域は、小中学校ともに筑豊地域で、小学校71.5、中学校61.0となっている。一方、減少が最も小さい地域は、小中学校ともに福岡地域で、小学校94.3、中学校83.4となっている。

図11 小学校児童数(指数)の推移

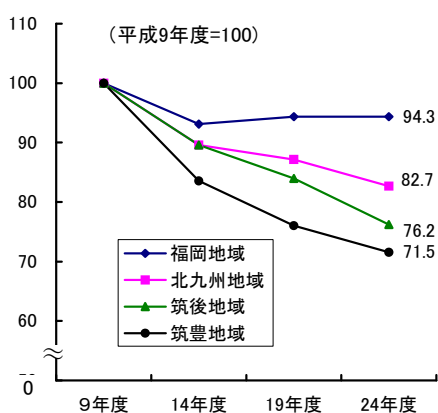


図12 中学校生徒数(指数)の推移

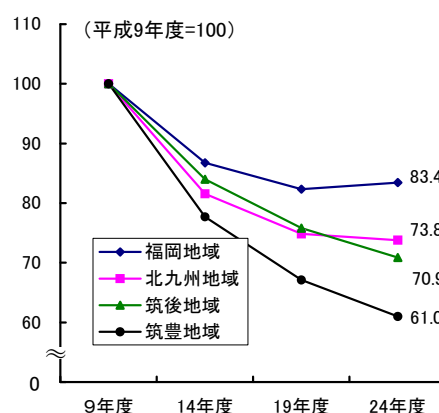


表20 地域別及び広域地域振興圏別小学校児童数の推移

地域区分	9年度	14年度	19年度	24年度	増減	指数
県計	321,308	291,251	285,439	275,748	▲ 45,560	85.8
福岡地域	148,731	138,452	140,316	140,320	▲ 8,411	94.3
福岡市圏域	79,535	74,757	76,638	77,326	▲ 2,209	97.2
筑紫圏域	27,435	26,466	27,530	27,028	▲ 407	98.5
糟屋中南部圏域	11,757	10,694	11,372	12,297	▲ 540	104.6
宗像・糟屋北部圏域	16,192	14,343	13,190	13,342	▲ 2,850	82.4
糸島圏域	7,140	6,504	6,312	5,681	▲ 1,459	79.6
朝倉圏域	6,672	5,688	5,274	4,646	▲ 2,026	69.6
北九州地域	82,766	74,172	72,136	68,413	▲ 14,353	82.7
北九州市圏域	60,238	54,297	53,514	51,061	▲ 9,177	84.8
遠賀・中間圏域	9,557	8,447	7,688	7,113	▲ 2,444	74.4
京築圏域	12,971	11,428	10,934	10,239	▲ 2,732	78.9
筑後地域	59,184	53,040	49,699	45,104	▲ 14,080	76.2
八女・筑後圏域	10,116	9,061	8,386	7,451	▲ 2,665	73.7
久留米圏域	31,643	29,374	28,471	26,375	▲ 5,268	83.4
有明圏域	17,425	14,605	12,842	11,278	▲ 6,147	64.7
筑豊地域	30,627	25,587	23,288	21,911	▲ 8,716	71.5
直方・鞍手圏域	7,844	6,342	5,769	5,501	▲ 2,343	70.1
飯塚・嘉穂圏域	12,931	11,062	10,052	9,486	▲ 3,445	73.4
田川圏域	9,852	8,183	7,467	6,924	▲ 2,928	70.3

注)「増減」は、平成9年度と平成24年度の比較。「指数」は、平成9年度を100とした平成24年度の指数。

表 21 地域別及び広域地域振興圏別中学校生徒数の推移

(単位:人)

地域区分	9年度	14年度	19年度	24年度	増減	指数
県計	186,813	156,908	145,106	142,711	▲ 44,102	76.4
福岡地域	85,066	73,787	70,036	70,987	▲ 14,079	83.4
福岡市圏域	46,059	39,861	38,787	39,508	▲ 6,551	85.8
筑紫圏域	14,966	13,419	13,157	13,804	▲ 1,162	92.2
糟屋中南部圏域	6,975	5,591	5,264	5,521	▲ 1,454	79.2
宗像・糟屋北部圏域	9,399	8,250	6,989	6,547	▲ 2,852	69.7
糸島圏域	3,900	3,452	3,129	3,082	▲ 818	79.0
朝倉圏域	3,767	3,214	2,710	2,525	▲ 1,242	67.0
北九州地域	48,990	39,955	36,666	36,138	▲ 12,852	73.8
北九州市圏域	35,825	29,079	26,961	26,999	▲ 8,826	75.4
遠賀・中間圏域	5,565	4,637	4,051	3,634	▲ 1,931	65.3
京築圏域	7,600	6,239	5,654	5,505	▲ 2,095	72.4
筑後地域	34,396	28,901	26,077	24,388	▲ 10,008	70.9
八女・筑後圏域	5,735	4,979	4,417	4,041	▲ 1,694	70.5
久留米圏域	18,088	15,430	14,633	14,030	▲ 4,058	77.6
有明圏域	10,573	8,492	7,027	6,317	▲ 4,256	59.7
筑豊地域	18,361	14,265	12,327	11,198	▲ 7,163	61.0
直方・鞍手圏域	4,783	3,640	3,135	2,748	▲ 2,035	57.5
飯塚・嘉穂圏域	7,810	6,045	5,330	5,032	▲ 2,778	64.4
田川圏域	5,768	4,580	3,862	3,418	▲ 2,350	59.3

